

## 静岡県との事業連携協定を締結



6月30日（水）、都道府県会館において、静岡県との事業連携の協定締結式が行われ、宮田学長、北嶋副学長、松永工学教育部長が出席しました。

この協定は、本学の他、東京工業大学、早稲田大学も締結し、協定後のあいさつでは、三大学の学長から今後の抱負が述べられました。

なお、詳細については、8頁をご覧ください。

## 目 次

## 学 内 の 動 き . . . . . 3

- 第62回 工学部附属繊維博物館特別展「里山のめぐみとわざ」を開催  
 長春理工大学副学長が本学を表敬訪問  
 名誉教授称号授与式を举行  
 工学教育部 総合研究棟C棟(13号館)・1号館しゅん功式・祝賀会を举行  
 平成16年度 東京農工大学 6月卒業式・修了式を举行  
 平成16年度 就職ガンダンスを開催  
 第1回 新任教員のためのFDセミナーを開催  
 第1回 大学院共生科学技術研究部教授会を開催  
 平成16年度 自衛消防訓練審査会(府中)にて「敢闘賞」を受賞  
 静岡県との事業連携の協定を締結  
 講演会等特集

## 人 事 異 動 . . . . . 10

## 行 事 5 月 6 月 . . . . . 11

## シリーズ

## FM多摩丘陵(波丘地)の植物 その14 . . . . . 裏表紙

サンショウとイヌザンショウ

## 農工大の樹 . . . . . 裏表紙

その50 ノグルミ

## 学内の動き

### ◎ 第62回 工学部附属繊維博物館特別展 「里山のめぐみとわざ」を開催

5月12日(水)～16日(日)の5日間に渡り、工学部附属繊維博物館において、春の特別展「里山のめぐみとわざ」を開催しました。

和紙の原料として有名な楮<sup>こうぞ</sup>の実物や、農学部で使用していたモーター駆動の縄<sup>な</sup>織機(わらを2ヶ所から吸い込み、巻き取り荒縄とする機械)など、里山から採れる“わら・つる・和紙”に関する製品、民具、道具などを展示し、多くの来館者で賑わいました。



### ◎ 長春理工大学副学長が本学を表敬訪問

5月17日(月)、中国・長春理工大学から于化東副学長ほか7名が本学を表敬訪問され、瀬田副学長と大学間交流協定による今後の交流等について意見交換が行われました。

同大学は、中国東北部の吉林省長春市にあり、理学、光・電子工学、生命科学、経済管理、外国語等10の学院(学部)に相当)から構成された多分野の学術的な理工系大学で、本学とは、平成15年(2003年)9月に、姉妹校協定を締結しています。



(右から2番目が、于化東副学長)

## ◎ 名誉教授称号授与式を挙

5月18日(火)、本部第2会議室において、名誉教授称号授与式が行われました。

この度、名誉教授の称号を授与されたのは、本年3月に退官された次の11名の方々です。

元工学部教授 東 福 次

元工学部教授 森 本 孝

元工学部教授 長谷川 正

元工学部教授 澤 田 孚 夫

元工学部教授 江 村 恒 夫

元工学部教授 齊 藤 忠

元工学部教授 伊 東 正 安

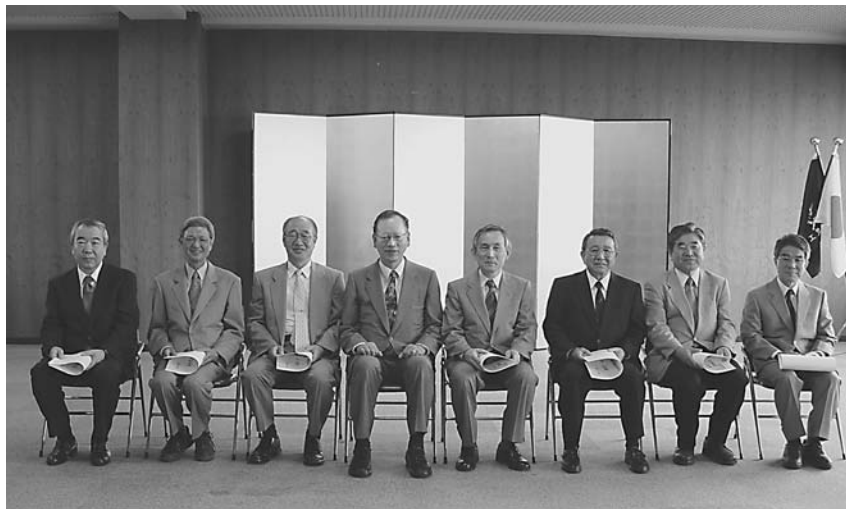
元大学院工学研究科教授 高 木 隆 司

元農学部教授 倉 本 器 征

元大学院生物システム  
応用科学研究科教授 諸 星 紀 幸

元保健管理センター教授 鈴 木 慶 二

(敬称略)



(名誉教授の称号を授与されたの方々等)

## ◎ 工学教育部 総合研究棟C棟(13号館)・1号館

### しゅん功式・祝賀会を挙行

6月4日(金)、工学教育部の総合研究棟C棟(13号館)新営工事及び1号館改修工事のしゅん功式・祝賀会が開催されました。

式では来賓・教職員など約70名が出席し、宮田学長のあいさつ、施設概要報告、文部科学省文教施設企画部長の代理として山川参事官補佐から、本学のさらなる研究者間の交流や活発な教育研究活動が展開されることを期待している等の来賓あいさつがあり、その後、施設見学及び祝賀会が開催されました。

総合研究棟C棟(13号館)は、留学生センター、共通教育及び留学生の日本語教育に使用する講義室が配置されています。また、重点領域センターのオープンラボラトリーとして、将来的な実験研究に対応したスペースを確保しています。1号館は既存建物の有効活用・活性化を目指し、内外の改修工事及び耐震補強工事を行いました。



(来賓あいさつをする山川参事官補佐)



(総合研究棟C棟(13号館))



(総合研究棟1号館)

## ◎ 平成16年度 東京農工大学 6月卒業式・修了式を挙行

6月16日(水)、学長室において、平成16年度東京農工大学6月卒業式・修了式が行われました。

式では、農学部2名、工学部3名に卒業証書が、工学教育部博士後期課程4名、生物システム応用科学教育部博士後期課程1名に修了証書が、学長から授与されました。



(卒業生・修了生1人ひとりに卒業証書・学位記を授与)

## ◎ 平成16年度 就職ガイダンスを開催

6月16日(水)、23日(水)に、府中キャンパス及び小金井キャンパスにおいて、就職ガイダンス「一般説明会(第1回)」が開催されました。

本年度のガイダンスは、一般説明会を4回、公務員希望者説明会を1回及び模擬面接講座を1回、それぞれ両キャンパスで実施する予定です。

第1回目となる今回は、「企業が欲しい人材」と題し、府中キャンパスでは、週一回進路相談を行っている櫻井進路・就職相談員が講師として講演を、小金井キャンパスでは、瀬田副学長が講師として講演を行い、出席した学生は、熱心に聴講していました。

また、6月30日(水)には、府中キャンパスにおいて「一般説明会(第2回)」が開催されました。



(熱心に聞き入る学生たち)

## ◎ 第 1 回 新任教員のための F D セミナーを開催

6 月 22 日（火）、50 周年記念ホールにおいて、平成 15 年 4 月以降本学へ赴任された教員を対象に F D（Faculty Development）セミナーが開催されました。

このセミナーは、教員の教育力の向上を図り、教育活動に反映させることを目的としています。

当日は、14 名が参加し、① F D とは何か、なぜ F D 活動が大事かについて考えること②学生の求める授業を検討し、改善の方向を提示できること③良い講義とは何かについて理解し、実践できること④シラバスとは何かを理解し、シラバスを書けること⑤講義の計画から実施までを演習し、実践できることを行動目標として、大学教育センターの教育評価・F D 部門教員が、指導・助言を行いました。

なお、この模様は大学教育センターホームページ（URL：<http://www.tuat.ac.jp/~epc/>）に掲載しています。



## ◎ 第 1 回 大学院共生科学技術研究部教授会を開催

6 月 23 日（水）、農学教育部本館講堂において、今年度から本学の新研究組織となった大学院共生科学技術研究部の第 1 回教授会が開催され、本研究部に所属する教員の約 9 割にあたる 263 名（委任状提出者を含む）が出席しました。

研究部として初めての教授会開催にあたり、堤研究部長からあいさつがあり、教員、部門長等の人事の報告、研究部運営委員会・代議員の紹介の後、各部門・拠点の研究内容について、各拠点長等から紹介がありました。

教授会終了後、農学と工学並びにその融合技術を機軸とした総合的な科学技術研究を推進する新組織の発足を祝う祝賀会が、農学教育部福利厚生棟オリザで、盛大に執り行われました。



## ◎ 平成16年度 自衛消防訓練審査会（府中）にて「敢闘賞」を受賞

6月25日（金）、日本中央競馬会東京競馬場において、東京消防庁府中消防署主催の「自衛消防訓練審査会」が行われました。

本審査会は、府中消防署管内の各事業所における自衛消防隊の消防活動技術の向上を図ることを目的に毎年1回実施され、本学も参加しています。

当日は、各事業所から45隊が参加し、4グループに分かれて、自動火災報知設備作動時の対応、119番通報と館内放送、避難誘導、消火器による初期消火等の要領について、日ごろの訓練成果を競い合い、本学の自衛消防隊は「敢闘賞」を受賞しました。

なお、小金井地区においても、9月14日（火）開催の小金井消防署主催自衛消防訓練審査会に参加する予定です。



（左から庄司、柳澤、西村の各事務官）（訓練成果を十分に発揮する隊員）

## ◎ 静岡県との事業連携の協定を締結

6月30日（水）、都道府県会館において、宮田学長、相澤東京工業大学長、白井早稲田大学総長及び石川静岡県知事が出席し、静岡県との事業連携の協定締結式が行われました。

この協定の締結により、本学と静岡県では、日本のみならず、世界の健康福祉への貢献を目指して、医学と工学の本格的な連携により、がんなどの画期的な診断・治療機器等の研究開発を進め、静岡県の「ファルマバレー構想」を推進していくこととなり、本学は、遺伝子・タンパク質の分析等基礎的分野の研究機能を補充し、かつ応用研究の機会を確保することができ、バイオテクノロジー戦略を飛躍的に加速させることが期待できます。

静岡県の「ファルマバレー構想」とは、富士山などの恵まれた自然環境、県立静岡がんセンターや研究機関、医療関連企業の進積等優れたポテンシャルを活かして、民産学官の連携により医療からウェルネス（積極的創造的な健康増進活動）まで、患者・住民本位の視点から先端的な研究開発を進めることにより、健康増進・疾病克服と健康関連産業の集積による県民の経済基盤確立を図り、快適空間の創造を目指す構想（平成12年度構想策定・推進期間平成13年～平成22年）です。

この構想の重要な戦略プロジェクトとして、静岡がんセンター研究所の新棟を整備し、ここを拠点に、県立静岡がんセンター・同研究所と三大学との医工連携により、先端的な研究開発などを進めるものです。



（右から宮田学長、相澤東京工業大学長、石川静岡県知事、白井早稲田大学総長）



## 講演会等特集

本学では、下記のとおり各種講演会等を開催しました。

各講演会等とも多数の来聴者が熱心に聞き入り、活発な意見交換が行われました。

開催日	講演者	講演テーマなど	開催場所
5月12日(水)	国立大学法人東京農工大学監事 小林俊一氏	理化学研究所と大学 (対象：本学の教職員)	本部第二会議室
6月23日(水)	筑波大学教授・大学教育センター長 山本眞一氏	これからの大学職員のあり方～ 法人化時代を考える (対象：本学の事務職員)	本部第二会議室



(小林 監事)



(山本 氏)

# 行 事

## 〈平成 16 年 5 月〉

日	曜	本部・図書館関係事項	学部関係事項
6	木	全国国立大学工学系学長懇談会(7日まで) ホテルポロリカ/盛岡 NEW WING	
7	金		繊維博物館協議会 10:45 館長室
10	月	役員会 10:00 本・学長室	工学部編入学部会 15:00 工・中会議室
11	火	学長選考会議 15:30 本・第1会議室	小金井市官公署等連絡協議会 11:00 工・中会議室 農学部運営委員 15:00 農・第2会議室
12	水	役員・部局長・評議員懇談会 15:00 本・第1会議室 小林監事講演会 16:00 本・第2会議室	生物システム応用科学教育部運営委員会 9:30 生・教育部長室 工学教育部運営委員会 10:00 工・中会議室 施設整備委員会 15:15 工・中会議室 教育委員会 15:15 総合情報メディアセンター3F会議室 学生生活委員会 15:30 小金井図書館3F 社会貢献小委員会 15:30 6号館402教室 第62回繊維博物館特別展「里山のめぐみとわざ」(16日まで) 繊維博物館
13	木	全学計画評価委員会 10:00 本・第1会議室	第54回国立大学工学部長会議・総会(14日まで) 仙台国際ホテル
17	月	長春理工大 表敬訪問	連合農学研究科代議委員会 茨城大学
18	火	名誉教授称号授与式 本・第2会議室	
19	水	電気通信大学との打ち合わせ 16:00 本・学長室	工学教育部運営委員会 10:00 工・中会議室 農学教育部教授会 14:30 連・第2会議室 農学研究委員会 (教授会終了後) " 工学教育部教授会 15:00 工・大会議室
21	金	国立大学入学者選抜研究連絡協議会 14:00 群馬大学	
22	土		第1回子供科学教室 10:00 博物館講堂
24	月		第3年次編入学推薦入学願書受付(27日まで)
25	火	一般定期健康診断(府中地区) 本・第2会議室	
26	水	教育研究評議会 15:00 本・第1会議室 日仏共同博士課程 共通留学準備講座(28日まで) 日仏会館	戦略企画委員会 10:00 工・中会議室 広報・社会貢献委員会 14:30 農・第2会議室 農学教育部・農学教育委員会 14:45 農・第1会議室 総務委員会 15:15 工・中会議室 農学部財務委員会 15:00 連・第1会議室
28	金	一般定期健康診断(小金井地区) 工・中会議室	
31	月	創立記念日	

★ 府中図書館 定例休館日 5月28日(金)  
小金井図書館 定例休館日 5月28日(金)

## 〈平成 16 年 6 月〉

日	曜	本部・図書館関係事項	学部関係事項
1	火	関東甲信越地区国立大学法人等会計部課長会議 13:00 学生生活委員会 15:00	KKRホテル東京 学生部共用C 農学教育部運営委員会 15:00 農・第2会議室
2	水	経営協議会 14:00 役員会 経営協議会終了後 国立大学入学者選抜研究連絡協議会 第25回大会(4日まで) 松山市	本・第1会議室 本・学長室 生物システム応用科学教育部 教授会 9:30 工学教育部運営委員会 10:00 工学教育部施設整備委員会 15:15 工学教育部教育委員会 15:15 工学教育部学生生活委員会 15:30 工学教育部社会貢献小委員会 15:30 国立大学法人独立研究科農水産関係学部長会議 連合獣医学研究科運営協議会
3	木		全国農学系学部長会議 全国連合農学研究科協議会
4	金	国立大学法人等施設費要求等に関する説明会 13:00 第1回大学法人等施設部課長会総会 16:00	東京大学 東京大学 工学教育部入学試験実施部会 10:00 東京農工大学総合研究棟(13号館)・1号館しゅん功式典 16:00 全国農学系学部長会議 全国連合農学研究科協議会
7	月		工学部3年次編入学試験(推薦入学)第2次選考 9:00
9	水		農学教育部教授会 14:30
11	金		繊維博物館協議会 10:45 工学部3年次編入学試験(推薦入学)内定者発表 14:00
12	土		生物システム応用科学教育部入学説明会 13:30
14	月		工学教育部博士前期課程入学願書受付(7月30日まで) 連合農学研究科代議委員会 14:00
15	火	留学生特別健康診断 9:00~12:00 教育改革検討委員会 15:00	府中保健管理センター 学生部共用C
16	水	留学生特別健康診断 9:00~12:00 6月卒業式・修了式 9:30 教育研究評議会 10:00 就職ガイダンス	府中保健管理センター 本・学長室 本・第1会議室
21	月	役員会 13:30	本・学長室 農学教育部大学院入試委員会 13:00
22	火	新任教員のためのFDセミナー 9:00	50周年記念ホール
23	水	共生科学技術研究部教授会 15:30 入学試験委員会 就職ガイダンス 山本眞一氏講演会	農・講堂 農学教育部学生生活委員会 13:00 工学教育部総務委員会 15:15 本・第2会議室
24	木	国立大学入試担当課長連絡評議会 10:00	前橋市
25	金	平成16年度 自衛消防訓練審査会	
26	土		第2回子供科学教室(土曜クラブ) 10:00
28	月	役員会 13:30	本・学長室
29	火	平成16年度全国国立大学留学生センター長及び 留学生課長等(仮称)合同会議13:30~17:00	東京工業大学
30	水	第51回(平成16年度)国立大学図書館協会総会(7月1日まで) 東京工業大学・東京農工大学・早稲田大学・静岡県事業連携協定締結式	大阪大学コンベンションセンター 都道府県会館 農学教育部教育委員会 14:45 農学教育部財務委員会 15:00

★府中図書館 定例休館日 6月30日(水)  
小金井図書館 定例休館日 6月30日(水)

## F M多摩丘陵（波丘地）の植物 その14

## サンショウとイヌザンショウ

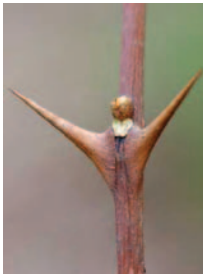


サンショウの雄花

知り合いの方が、「庭からサンショウの葉を持って来ました」と見せて下さった。よく見ると、サンショウの葉にしては小葉の幅が狭い。「これはイヌザンショウですね」  
 イヌザンショウの葉も噛むと、サンショウの葉と同じ味がして口の中が痺れるので間違えやすい。このふたつは、サンショウ属とイヌザンショウ属という属の違いはあるものの、低木、雌雄異株、奇数羽状複葉が互生するなどよく似ています。しかし、よく観察すると色々違いが判ってきます。まず花期です。サンショウは4月で、イヌザンショウは8月。どちらも枝に刺がありますが、サンショウは対生で、イヌザンショウは互生。すりこぎ棒でお馴染みのサンショウの幹は、凹凸が大きいですが、イヌザンショウの幹は刺の跡はあるものの、凹凸は殆どありません。小葉はサンショウの方が幅広く、鋸歯が大きい。毛は、サンショウは葉脈上に多いの



イヌザンショウの雄花



サンショウ



イヌザンショウ

に対し、イヌザンショウの毛は全体に生えています。植物図鑑に「サンショウよりも香りが悪く、イヌザンショウの名前がついています」と書かれていますが、鼻があまりよくないせいか、この違いはよく判りませんでした。



サンショウ



イヌザンショウ



サンショウ イヌザンショウ

## 農工大の樹 その50



---

### 〈 解 説 〉

---

## ノグルミ

ノグルミ (クルミ科ノグルミ属の種; 学名 *Platycarya strobilacea* Seib.et Zucc.)

この種は樹高10mから20m、直径60cmくらいになる落葉高木で、東海地方以西の本州、九州、四国、朝鮮半島、台湾、中国中・南部に分布しています。和名のノグルミは「野グルミ」の意味で、羽状複葉の葉や樹形がクルミに似ていて、山野に生えていることに由来します。6月に新枝の先に多数の尾状の雄花と、1～2個の雌花をつけます。雌花は成熟すると、革質の堅い鱗片をもつハリネズミのような長楕円形の果序をつくります。この形から、この木を中国地方ではサルノクシ、キツネノクシ、壱岐島ではオニババノクシ、和歌山県ではカラスノクシなどと呼ぶそうです。また、燃やすと芳香を発するので、中国地方や九州では福の神を招くために、大晦日や節分に囲炉裏でこの材を焚く風習があるそうです。用途としては、クルミと同じ建築材、器具材のほかに、樹皮からタンニンの原料を採り、皮をなめすのに利用しました。この写真は農学部本館の南側に生育するこの種で、拡大写真は枝につく昨年と今年の雌花、雄花と雌花です。

(環境資源共生科学部門 教授 福嶋 司)